

補助事業者

佐竹物産株式会社
(資本金3,000万円、従業員3名)

会社概要：山形の気候風土豊かな土壌で栽培された青果及び加工食品を扱う卸売業者。業務用から個人まで山形県産の果物を一手に手掛けられる商品開発力が強み。

課題

他社との差別化を図り、新たな販売先として考えている海外展開を実現するには、特徴を持つ果物や売り方が鍵となり、新たな栽培技術・生産方式や革新的な販売方法を話し合える意識の高い生産者の存在が不可欠であった。

取組概要

- ・さくらんぼ生産者と協業し圃場内カメラ、センサーによる生育環境を可視化することで霜対策に取り組むとともに、海外バイヤーに対し新たな付加価値提案を行った。
- ・独自の土壌改良材、剪定等によるさくらんぼ新品種の高糖度化、大玉化。
- ・FOODEX JAPAN2022でのバーチャル収穫体験イベントの実施。
- ・3D立体型パッケージの開発、特許出願による差別化。

取組の効果

- ・商談時に圃場内カメラでさくらんぼ新品種の生育状況を映して海外バイヤーに商品を見せることで、説得力と信頼感が増し果物の年間受注に成功。また、独自の栽培基準の開示も成約に大きく貢献した。
- ・FOODEX JAPAN2022出展と支援パートナーのマッチング支援により、香港・台湾・タイの4社と果物及び加工品の輸出取引がスタートした。
- ・3D立体型パッケージ、バーチャル収穫体験等の他に無い取り組みから弊社に興味も持っていただけることで円滑な商談ができています。



[スマート農業]



[バーチャル収穫体験]



[3D立体型パッケージ]

支援P

一般社団法人
山形県国際経済振興機構

支援Pが果たした役割

- ・輸出コーディネーターによるサポート（マッチング、商談同席、通訳、資料作成支援、ネゴシエーション手法のアドバイス等）
- ・FOODEX JAPAN2022出展における同行支援とフォローアップ
- ・オンライン商談への同席支援とフォローアップ

事業の実施体制

